ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
M212V402	地域看護学実習 (Clinical Practice of Community Health Nursing)	地域看護学	

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
必修	3	4	医学部看護学科	前	他	日本語		複数(共同)

担当教員	氏名　後藤奈穂・金崎理子・簀河原靖子 E-mail　goto-naho@oita-u.ac.jp　内線　5092
授業の概要	地域の生活集団を単位とした看護活動の展開方法について、行政サービスの中で機能している看護活動への参加を通して、その活動に必要な技術の習得とあわせて、看護専門職の機能を発揮するための考察を深める。

具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	実習地域の概況と特性を説明する	○						
目標2	保健所・市町村における保健活動の成り立ちと実習地域の保健サービスシステムを説明する	○						
目標3	対象者への理解を深めその内容を表現する	○						
目標4	保健師活動の実際を説明する	○						
目標5	家庭訪問・健康教育・健康相談の基本を実践する	○						
目標6	地域特性や関連法規・保健医療福祉計画と関連した地域看護活動を説明する			○				
目標7	地域の健康危機管理体制、地域における看護管理の実際を説明する			○				
目標8								
目標9								
目標10								
	各DPへの関連度（計10）	7		3				

授業の内容

1	①オリエンテーション
2	②各種保健事業・家庭訪問・健康教育の実施
3	③カンファレンス（３週間の中で保健所実習1週間、市町村実習は2週間とし、日程は各実習保健所 単位に計画する。 原則として第1週と2週の金曜日に学内にて
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

アクティブラーニング		
A:知識の定着・確認		・１～２週目の金曜日は学内カンファレンスとし、体験から看護の役割を検討するとともに実習での学び方について考えられるようにする ・実習期間中必要に応じて中間カンファレンスを実施し、学生と実習指導者、教員でディスカッションする場を設ける。
B:意見の表現・交換		
C:応用志向		
D:知識の活用・創造	○	

その他の工夫	

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	教科書と実習地域に関する資料とを照らし合わせながら学習する
	事後学修	実習記録や実習中に得た資料などを活用しその後の実習や学習に活かす
	想定時間合計	

教科書	地域看護学および既習の基礎看護学、成人看護学、精神看護学、母性看護学、小児看護学、老年看護学等で扱った教科書や授業資料等
参考書	実習中、適宜紹介する

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	実習態度	20%	○	○	○	○	○	○	○			
	実習記録・課題レポート	70%	○	○	○	○	○	○	○			
	実習指導者の意見	10%	○	○	○	○	○	○	○			

注意事項	
備考	
リンク	URL
担当教員の実務経験の有無	○
教員の実務経験	保健師(保健所、市町村、病院)
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○
教員以外の指導に関わる実務経験者	保健師(保健所、市町村、地域包括支援センター)、栄養士(保健所、市町村)、看護師(保健所、市町村)、助産師(市町村)
実務経験をいかした教育内容	公的機関の看護職としての保健師活動について、それぞれの実務経験を活かしながら学生の自律的な学習を支援する。